

1. エンジンキルスイッチが“RUN”になっていることを確認します。
2. フューエルコックレバーが“ON”になっていることを確認します。
3. メインスイッチを“ON”にします。
4. チェンジをニュートラルにします。(ニュートラルランプで確認してください)

※この車は、セーフティスタータ機構を採用していますので、チェンジが入った状態では、エンジンは始動しません。但しこの状態でも、クラッチレバーを握ればエンジンは始動します。

5. チョークレバーをいっばいに引きます
6. スロットルグリップを閉じ、スタータボタンを押します。
7. エンジンがかかったら、チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転し、チョークレバーを完全に戻してからスタートします。

- ・ エンジンがかからないときは、89ページ記載の要領で確認してください。

注意

- ・ スタータボタンを押して5秒以内でエンジンがかからないときは、10秒くらい休んでからまた押してください。これはバッテリー電圧を回復させるためです。
- ・ 無用の空ふかしはしないでください。ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジンにも悪影響を与えます。
- ・ 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や、せまい場所での始動は避けてください。